

NHK跡地発掘調査の結果について

1 調査期間

令和4年（2022年）3月～9月

2 調査目的

NHK跡地の整備基本計画策定に向けて、遺跡の残存状況・内容の確認を行う。

3 調査成果

- ① 近世（江戸時代）以前の旧地形：
茶臼山から派生する独立丘陵で、NHK跡地西側に頂部が存在したことが判明
- ② 近世武家屋敷に関連する造成を確認：
T8・T12・T15・T16
近世の斜面を確認：T6・T7・T9
- ③ 確認した遺構
T1：近代（明治時代以降）の坂道に伴う石積み
T8：近世の穴（性格不明）
- ④ その他
T4：古墳時代の鉄刀・耳飾り・土器出土



T9 近世の斜面と近代の拡張



T4 鉄刀出土状況



T1 近代の石積み

4 広報活動

現地説明会

開催日：令和4年（2022年）9月17日（土）

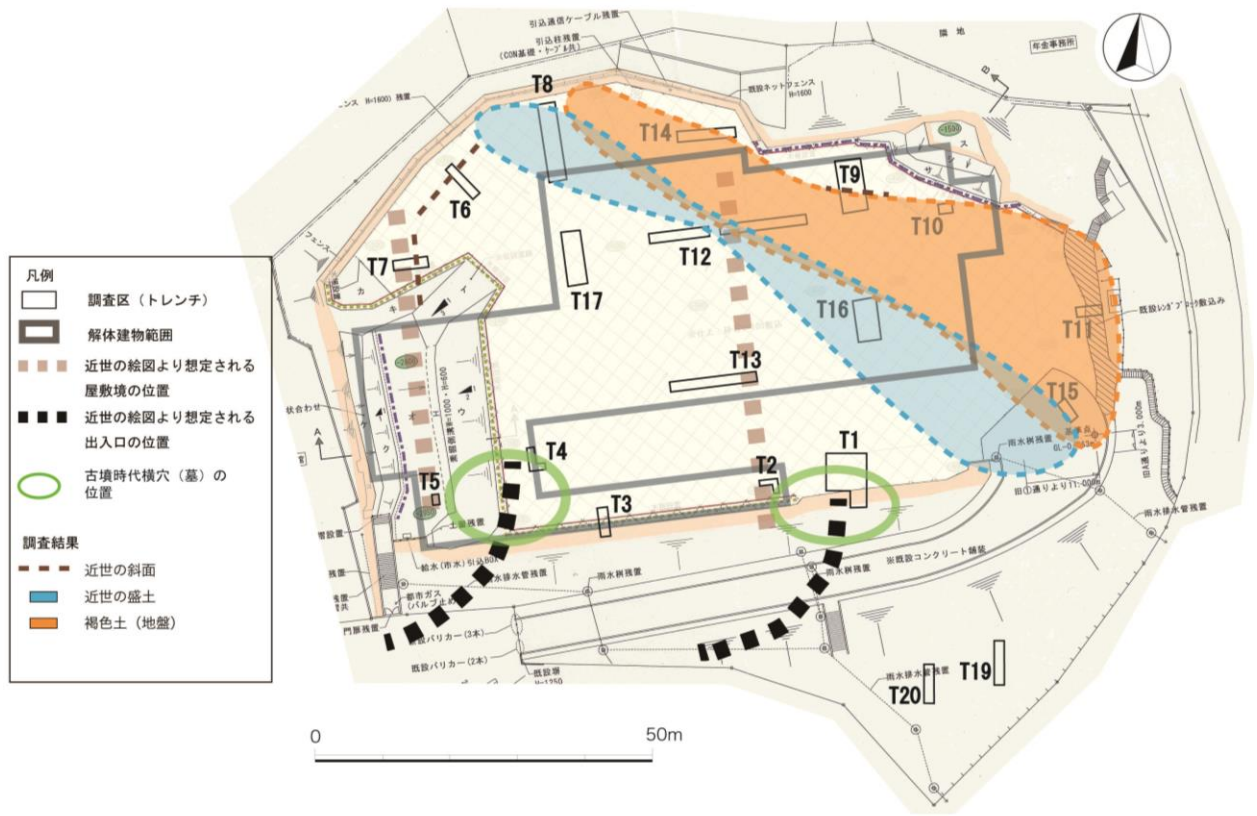
参加者：57人



説明会の様子

5 結論

- ① 近世武家屋敷について、展示するような遺構は確認できなかった。
- ② 武家屋敷の設置にあたり、大規模な造成（西側の削平と北東側への盛土）が行われていたことを確認した。
- ③ 区画の土塁は確認できなかったものの、北側は現在の範囲より狭かったことが判明した。
- ④ 鉄刀などの出土から、古墳時代の遺構が存在する可能性がある。



調査区 (トレンチ) の位置と調査成果



南からみたNHK跡地